

人間科学職に求められること

こちらの図では、人間科学職のキャリアパスを示しています。

人の一生に関わる幅広い分野の仕事を担う厚生労働省の中で、人間科学職は、主に「仕事」の分野に関する政策を専門的な視点から支え、そうした経験を積みながらキャリアアップを図っていきます。その際、厚生労働省の人間科学職には、個々人に向き合い、その課題をひとつひとつ解決していく個別支援よりも、必要な支援を行うための仕組みを作り、運用していくことが求められます。また、労働局（地方）勤務を経験し、政策を運用する現場実務や組織マネジメントにも精通していくことも期待されます。

具体的には、個別支援の手法を理解した上で、さまざまな制度や事業の仕組みを創設・運用することになります。運用にあたり、対外的には、関係団体等との連携の体制の構築、事業主等に対する指導・啓発等を進めます。対内的には、現場で用いる様々なツールや手法等を開発・提供するほか、業務を円滑に進めるための指導や、組織マネジメントの方法を検討します。このような取組を通じて、必要な支援を成し遂げていくことが必要となります。

このため、まずは「総合職」としての企画・立案の能力、調整力、指導力などが求められます。これを突き詰めていくと、積極性、理解力、説明力、論理構成力、リーダーシップ、コミュニケーション能力などが求められることになります。

それでは、次のページから厚生労働省で活躍している人間科学職の職員を紹介していきます。

地方研修

入省2年目の1年間は、都道府県労働局及びハローワークでの地方研修があります。



23 ページ かとう さよ 加藤 さよ



23 ページ すがわら さくら 菅原 さくら



23 ページ しょう ななこ 正 菜々子



23 ページ なかだ えり 中田 英里



23 ページ わこう いぶき 和合 伊吹

海外・独立行政法人等での勤務

在外公館や国際機関、独立行政法人、地方自治体等で勤務することもあります。



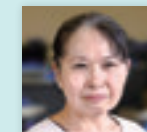
17 ページ ふじい あつし 藤井 淳史



17 ページ すぎはら けい 杉原 慶



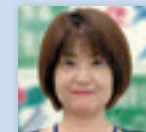
18 ページ ふじい たけし 藤井 剛



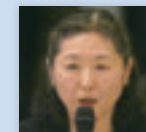
18 ページ たけなか いくこ 竹中 郁子

地方管理職など

都道府県労働局の管理職として、マネジメント業務に従事することもあります。



14 ページ たなか さとえ 田中 里枝



16 ページ さとう えつこ 佐藤 悦子

係員クラス

係長クラス

行政官としての基礎を固める

- ▶ OJT・研修で行政官としての基礎スキルを習得
- ▶ 労働関係部局を中心に幅広い政策分野を経験



19 ページ いなだ ちひろ 稲田 ちひろ



19 ページ すがはら ぎんじろう 菅原 吟治郎



19 ページ よしかわ ひかる 吉川 輝



19 ページ とぐち わか 渡久地まゆみ



19 ページ まつもと りんな 松本 鈴菜



22 ページ やぎぬま ひろき 柳沼 洋輝



22 ページ こんどう ねね 近藤 希音



11 ページ たなか ふうた 田中 風多



11 ページ いしだ りゅうのすけ 石田 龍之介



12 ページ しらいし あんず 白石 杏



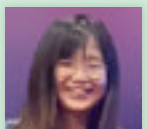
12 ページ かわい ともや 川合 智也



22 ページ あおの げんた 青野 源太



25 ページ わたなべ けんせい 渡邊 兼成



26 ページ なかさい みさき 中齋 美咲



30 ページ たまい ゆい 玉井 優衣

都道府県労働局 職業安定部長など

課長補佐クラス、室長・企画官クラス

省の中核的な役割を果たす

- ▶ 様々なプレイヤーの総合調整を担う
- ▶ 地方出向で幹部・管理職として勤務



13 ページ まつうら ゆかこ 松浦 由加子



13 ページ ひだか ゆきや 日高 幸哉



15 ページ はやし みきお 林 幹雄



15 ページ たなか せいichi 田中 誠一



16 ページ ひらかわ まさひろ 平川 雅浩

都道府県労働局長

課長・参事官クラス以上

大局的視野で政策を立案・実施

- ▶ 高度の専門性を発揮
- ▶ 戦略的分析を行う



3 ページ さわぐち こうじ 澤口 浩司